



第 12 回 DBJ サステナビリティボンド資金使途報告書(発行日 2022 年 9 月 1 日)

DBJ は、DBJ サステナビリティボンドフレームワーク(以下、「フレームワーク」)に基づき、2022 年 9 月 1 日付で第 12 回 DBJ サステナビリティボンドを発行しました。

■フレームワーク及びフレームワークに対するセカンドパーティーオピニオン

- フレームワーク及びフレームワークに対するセカンドパーティーオピニオンについての詳細は下記リンクをご確認ください。

DBJ サステナビリティボンドフレームワーク

<https://www.dbj.jp/pdf/ir/credit/sri/framework.pdf>

セカンドパーティーオピニオン(認証機関:ISS ESG)

<https://www.dbj.jp/pdf/ir/credit/sri/latest-opinion.pdf>

- DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金は、以下のカテゴリーから構成される適格ファイナンス(フレームワークの 4.1(調達資金の使途)にて定義)のいずれかに充当されることとしております。

【DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金に充当可能なプロジェクトカテゴリー】

適格カテゴリー	プロジェクトカテゴリー
気候変動への対応 / 気候変動の緩和 (グリーン適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none">➤ グリーンビルディング➤ 再生可能エネルギー➤ クリーンな輸送➤ エネルギー効率・DBJ 環境格付融資
災害対応 (ソーシャル適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none">➤ 雇用創出及び社会経済的危機に起因する失業の防止又は軽減のためのプログラム➤ 手ごろな価格のベーシックインフラ- 送電網の改修 (エネルギー効率・エネルギー効率の高い送配電網)➤ 社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ BCM 格付融資
ヘルスケア・社会福祉 (ソーシャル適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none">➤ 手ごろな価格の住宅➤ 必要不可欠なサービスへのアクセス - ヘルスケア➤ 社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ 健康経営格付融資

■第 12 回 DBJ サステナビリティボンド資金使途報告(概観)

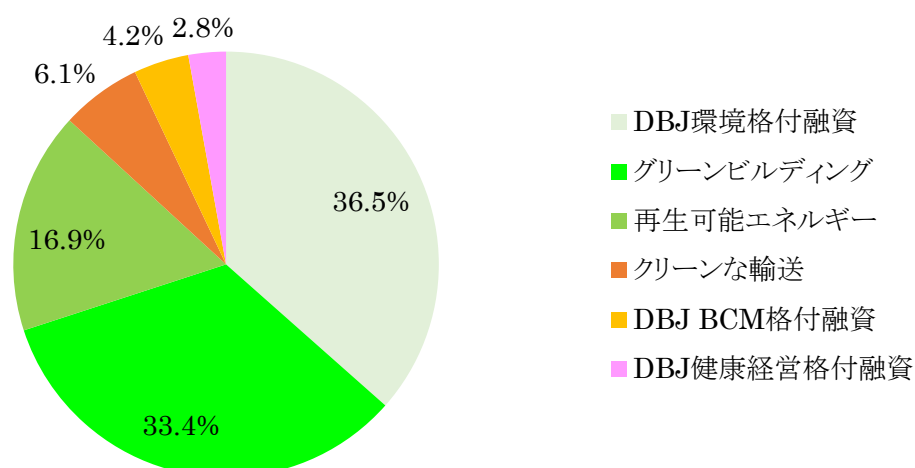
- 第 12 回 DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金は、下記 6 つのプロジェクトカテゴリーに充当を完了しております(2023 年 6 月 19 日時点)。プロジェクトカテゴリー毎のアロケーション比率については下記パイチャートをご確認ください。
- 第 12 回 DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金は、発行日時点(2022 年 9 月 1 日時点)で既に実行済みの投融資に充てており、リファイナンス比率は 100%となっております。
- 未充当金は、現金又は現金同等物で管理することとしておりますが、第 12 回 DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金の未充当額は存在していません。

※調達資金の管理についてはフレームワークの 4.3(調達資金の管理)をご確認ください

【第 12 回 DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金を充当したプロジェクトカテゴリー】

適格カテゴリー	プロジェクトカテゴリー
気候変動への対応 / 気候変動の緩和 (グリーン適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ グリーンビルディング ➢ 再生可能エネルギー ➢ クリーンな輸送 ➢ エネルギー効率- DBJ 環境格付融資
災害対応 (ソーシャル適格カテゴリー)	➢ 社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ BCM 格付融資
ヘルスケア・社会福祉 (ソーシャル適格カテゴリー)	➢ 社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ 健康経営格付融資

プロジェクトカテゴリー毎の
発行代わり金アロケーション比率



■第12回 DBJ サステナビリティボンド資金使途報告(詳細)

- 第12回 DBJ サステナビリティボンドに充当したプロジェクトカテゴリーについての詳細は下記の通りです。

① エネルギー効率- DBJ 環境格付融資

- DBJ 環境格付融資は、環境経営への取り組みが優れた企業を評価・選定する「環境格付」の手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

- セクター毎の案件数

製造業	2 件
建設業	1 件
運輸業、郵便業	2 件
物品賃貸業	5 件
合計	10 件

認証取得年月	2019/10~2022/6
--------	----------------

- 対象企業例

取引先	DIC(株)
本社	東京都中央区
業種	製造業
認証取得時期	2022 年
環境格付	A ランク
融資通貨	円
URL	https://www.dbj.jp/topics/dbj_news/2022/html/20220706_203890.html

【評価ポイント】

- ① 長期経営計画「DIC Vision 2030」において、「グリーン社会」、「デジタル社会」、「QOL 社会」への貢献を 2030 年の目指す姿として掲げ、事業ポートフォリオ変革に向けた 5 つの重点事業領域を設定した上で、持続可能な社会の実現への貢献と自社の企業価値向上を同期化させる長期戦略を打ち出している点
- ② 独自の強みを発揮して社会課題の解決に貢献できる製品を「サステナブル製品」として認定

するとともに、その売上拡大を目指す長期目標の設定や、すべての製品の社会貢献度と環境性能をマッピングによって可視化する「サステナビリティ指標」の活用により、本業を通じた自社ならではの提供価値の拡大を推進している点

- ③ 取引先へのサステナビリティに係る分析・評価結果のフィードバックや改善協議の実施に加え、人権デューデリジェンスを踏まえた人権リスクへの対応を進めるなど、サプライチェーンにおける持続可能性への配慮に積極的に取り組んでいる点



2022年「第2回サステナブル マテリアル展 (SUSMA)」に出展



溶剤を使わない接着剤「DUALAM」を使用した軟包装パッケージ（公益財団法人日本包装技術協が主催する第46回木下賞にて「包装技術賞」受賞）

② グリーンビルディング

②-(1) DBJ Green Building 認証制度 において3つ星、4つ星又は5つ星評価を取得した建物に対する新規投資及びリファイナンスへの投融資資金

- DBJ Green Building 認証とは、「環境・社会への配慮」がなされた不動産とその不動産を所有・運営する事業者を支援する取り組みとして 2011年に創設された認証制度です（DBJ Green Building 認証についての詳細は、リンク(<http://igb.jp/>)をご覧ください）。

案件数	1件
認証取得年度	2022年度

②-(2) Global Real Estate Sustainability Benchmark (グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク、GRESB) の「グリーンスター」評価を獲得した企業、建物、不動産又はREITに対する新規投資及びリファイナンスへの投融資資金

- GRESB についての詳細は下記リンクをご確認ください。

<https://gresb.com/>

案件数	18 件
認証取得年度	2022 年度

②-(3) CASBEE 又は BELS の上位 3 段階の評価を取得した建物に対する新規投資及びリファイナンスへの投融資資金

- CASBEE 及び BELS についての詳細は下記リンクをご確認ください。

CASBEE

https://www.ibec.or.jp/CASBEE/CASBEE_outline/about_cas.html

BELS

<https://www.hyoukakyokai.or.jp/bels/info.html>

案件数	CASBEE S ランク 6 件 (物流、オフィス) CASBEE A ランク: 2 件 (物流、商業施設)
認証取得年度	2020~2022 年度

③ 再生可能エネルギー

- CO₂ 削減に係る環境インパクト

カテゴリー	案件数	年間発電総量*	推定 CO ₂ 削減効果/年*
風力	1 件	2,013MWh**	874t-CO ₂ ***
バイオマス	4 件	74,086MWh**	32,153t-CO ₂ ***
太陽光	4 件	15,321MWh**	6,649t-CO ₂ ***
合計	9 件	91,420MWh**	39,676t-CO ₂ ***

* 総プロジェクトコストに於ける DBJ のファイナンス割合を考慮して算出した当行寄与分

**経済産業省(日本)開示の平均稼働率を元に推計

***環境省(日本)開示の係数を元に推計

④ クリーンな輸送

サブセクター分布	鉄道 100%
所在地	日本 100%

⑤ 社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ BCM 格付融資

➤ DBJ BCM 格付融資は、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定する「BCM 格付」の手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

➤ セクター毎の案件数

製造業	2 件
情報通信業	2 件
運輸業、郵便業	5 件
合計	9 件

認証取得年月	2019/10~2020/5
--------	----------------

⑥ 社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ 健康経営格付融資

➤ DBJ 健康経営格付融資は、従業員の健康や働き方への配慮に関する健康配慮への取り組みに優れた企業を評価・選定する「健康経営格付」の手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

➤ セクター毎の案件数

製造業	1 件
卸売業	1 件
小売業	1 件
不動産業	1 件
合計	4 件

認証取得年月	2020/2~2021/10
--------	----------------

➤ 対象企業例

取引先	(株)ニチレイ
本社	東京都中央区
業種	製造業
認証取得時期	2022年
健康経営格付	Aランク
融資通貨	円
URL	https://www.dbj.jp/topics/dbj_news/2022/html/20220704_203888.html

【評価ポイント】

- ① 健康経営のPDCAサイクルを迅速に回すことで2030年にありたい姿に向かう姿勢を明示するとともに、その実現に向けて中期的な健康経営の重点施策を定め、具体策として、健康イベント開催、ストレスチェック結果を踏まえた事業所での改善策実施、治療と仕事の両立に向けた理解深化の機会提供等、多様な施策の実践に精励している点
- ② ヘルスリテラシーの向上が健康増進に繋がるとのクロス分析結果のもと、役職員のヘルスリテラシー向上に向けて、eラーニングや「ニチレイ健康塾」等の機会を豊富に提供するとともに、幅広い健康データやその分析、健康課題をも「健康白書」やガイドブックにて開示する等、情報発信を積極的に実施している点
- ③ 長期経営目標「2030年の姿」の実現に向けて、企業の持続可能な成長を支える働きがいの向上を掲げるとともに、具体的な施策として、エンゲージメントサーベイの実施や分析結果に基づくプロジェクト形式での改善の取り組み等を推進している点



当社看板商品
「ニチレイ 本格炒め炒飯」



「ニチレイ健康塾」東北支社の様子

(2023年6月19日現在)